

国内生産

アザミウマ類の天敵製剤

リクトップ Rik-Top

タイリクヒメハナカメムシ剤



タイリクヒメハナカメムシ



捕食!



アザミウマ類



リクトップ (500頭入り)



リクトップ (100頭入り)



自社生産工場

アザミウマ類を速やかに攻撃!

商品詳細

※出荷方法および仕様は予告なく変更する場合があります。

商品名：リクトップ (100頭入り)

その他の成分：パーミキュライト (石綿不検出)

リクトップ (500頭入り)

学名： *Orius strigicollis*

種類名：タイリクヒメハナカメムシ剤

(農林水産省登録第 21545号)

商品規格：100頭/100mLボトル

500頭/500mLボトル

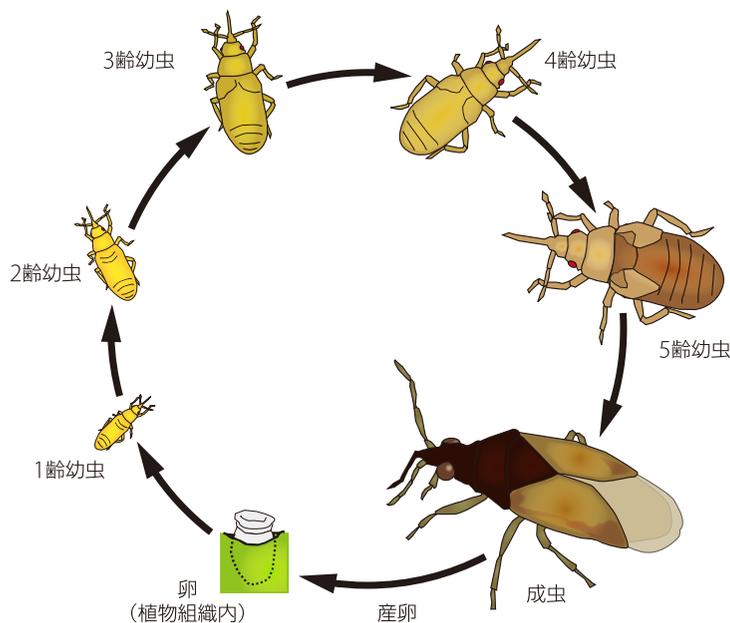


アグリセクト
www.agrisect.com

■虫を知る 天敵生物と害虫の生活サイクルを知り

天敵生物タイリクヒメハナカメムシの生態

タイリクヒメハナカメムシのライフサイクル



タイリクヒメハナカメムシ (成虫)



タイリクヒメハナカメムシ (幼虫)

捕



| | |
|------------|---|
| 分布 | 日本（関東以南）、台湾、中国、朝鮮半島 |
| 体長 | 成虫 約1.8～2.2mm |
| 体色 | 黒色～茶色 |
| 活動適温 | 25～30℃ |
| 発育期間（卵～成虫） | 約16日（25℃環境下） |
| ライフサイクル | 卵 → 幼虫（1～5齢） → 成虫 ※捕食活動を行うのは、幼虫（1～5齢）および成虫 |
| 捕食対象 | 広食性で、アザミウマ、ダニ、アブラムシなどを常食としている。ヤガ類の卵や花粉なども摂食することが知られている。 |
| 成虫の平均捕食数 | アザミウマ成虫の場合、1日あたり10頭以上 |

ましよう。

害虫アザミウマの生態



ミカンキイロアザミウマ

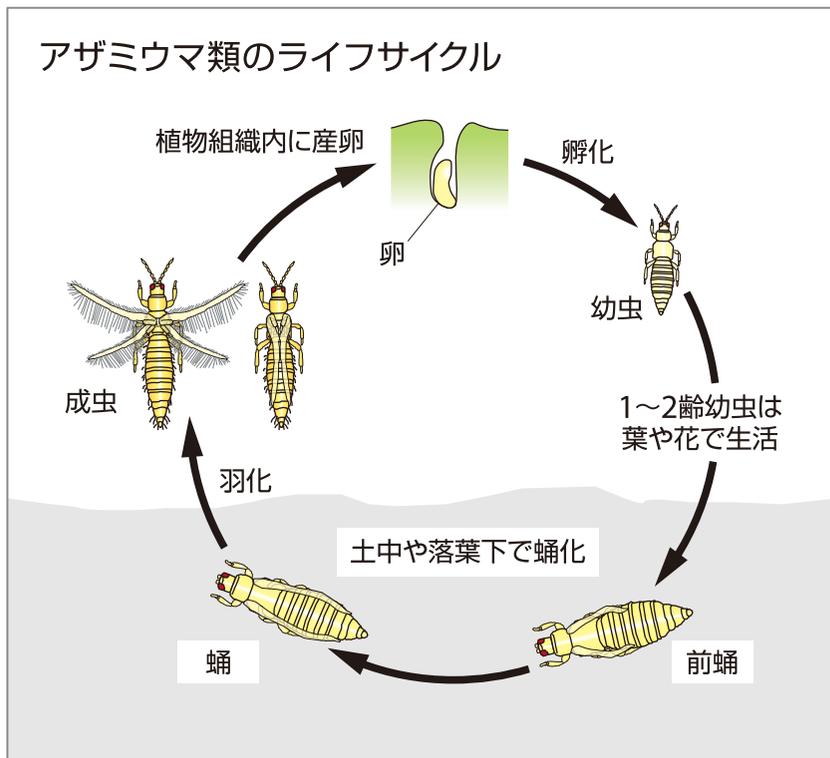


ミナミキイロアザミウマ

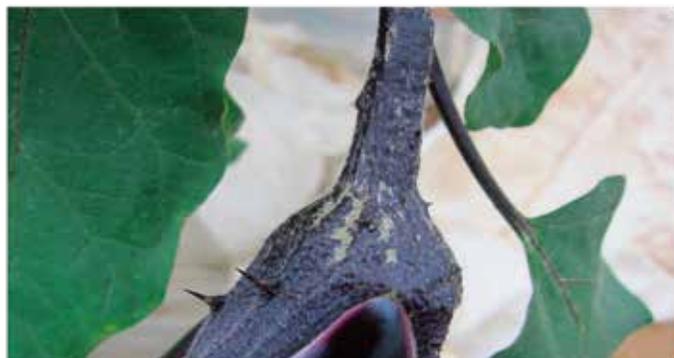


ヒラズハナアザミウマ

アザミウマ類のライフサイクル



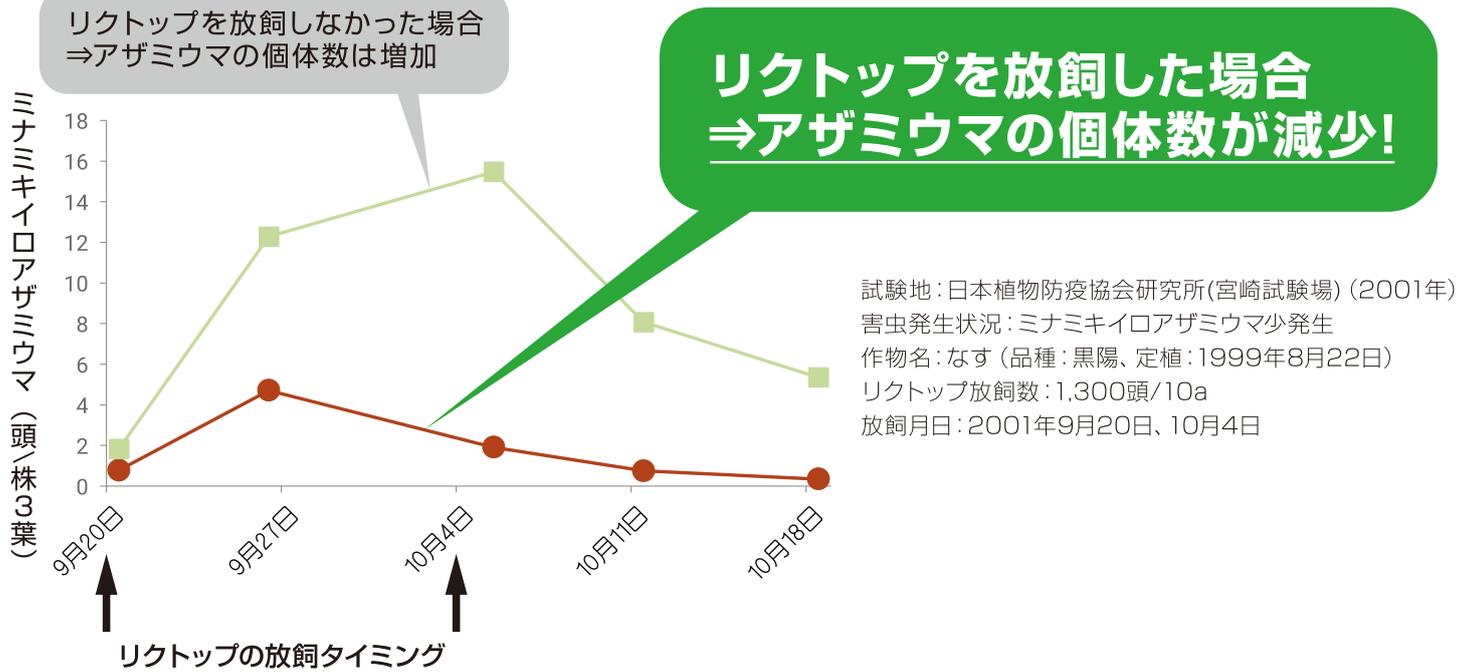
アザミウマによる被害 (葉にかすり状の傷)



アザミウマによる被害 (がく部分の食害)

| 主な害虫名 | ヒラズハナアザミウマ | ミナミキイロアザミウマ | ミカンキイロアザミウマ |
|-------------|---|---------------|----------------|
| 体長 | 雌成虫 約1.5mm | 雌成虫 約1.3mm | 雌成虫 約1.5mm |
| 体色 | 黒褐色 (雌成虫) | 橙黄色 (雌成虫) | 淡黄色および褐色 (雌成虫) |
| 活動適温 | 25~30℃ | 25~30℃ | 20~30℃ |
| 発育期間 (卵~成虫) | 約10日 (25℃環境下) | 約14日 (25℃環境下) | 約12日 (25℃環境下) |
| ライフサイクル | 卵→1齢幼虫→2齢幼虫→前蛹→蛹→成虫 ※幼虫および成虫が植物を加害する。 | | |
| 被害 | 一般的に植物の葉や花に寄生し、吸汁 (食害) する。被害は作物や加害部位によって様々だが、部分的な退色または褐変、かすり症状などが見られる。また、植物ウイルスを媒介する。 | | |

リクトップのアザミウマ類に対する防除効果



※施設を被覆する資材によっては定着しにくい場合があります。

リクトップについて

リクトップは、アザミウマ類の捕食性天敵であるタイリクヒメハナカメムシをボトルに封入した天敵製剤です。放飼したタイリクヒメハナカメムシは、葉裏や花の内部に寄生したアザミウマ類を探索して捕食します。

施設内にタイリクヒメハナカメムシを定着させることで、長期間アザミウマ類の増殖を抑制できます。



有効成分の種類：タイリクヒメハナカメムシ成虫

含有量：100頭/100mL

500頭/500mL

その他の成分：バーミキュライト (石綿不検出)

農林水産省登録第21545号

適用表

| 作物名 | 適用病害虫名 | 使用量 |
|---------------|--------|----------------------|
| 野菜類 (施設栽培) | アザミウマ類 | 1,000~ 3,000頭/10a |

第4版 2025.08



株式会社アグリ総研 アグリセクト営業部
〒300-0506 茨城県稲敷市沼田 2629 番地 1
電話 029-840-5977 FAX 029-840-5988
URL www.agrisect.com



リクトップの導入タイミング

アザミウマの発生に注意し、発生が確認されたら導入します。

発生が確認できた箇所には目印を付けておき、リクトップを重点的に放飼しましょう。



作物の花や葉を観察し、アザミウマの発生に注意しましょう

※アザミウマが多発生している場合は、タイリクヒメハナカメムシに対して影響の少ない農薬を散布し、できるだけアザミウマの密度を下げてから放飼してください。

⇒本書の **アザミウマ防除でリクトップと併用できる農薬** をご参照ください。

10aあたりのリクトップ導入基準：1,000~3,000頭/10a

導入前の注意点

●これまで使用した農薬がタイリクヒメハナカメムシに影響しないか確認しましょう。

⇒本書の **タイリクヒメハナカメムシに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について** をご参照ください。

導入前後の栽培管理について

タイリクヒメハナカメムシは、植物の柔らかい部分の組織内（新芽の葉脈や葉柄・新枝の節目など）に産卵します。

リクトップ放飼前に整枝摘葉（芽かきや葉かき）作業を行っておく、またはタイリクヒメハナカメムシが定着するまでは整枝摘葉作業を控える、放飼後の芽かき、葉かきの残渣を作物の株元周辺に残しておくなど、**タイリクヒメハナカメムシの卵や幼虫を圃場の外に持ち出さないように配慮**してください。



タイリクヒメハナカメムシの卵

リクトップの導入手順

① 天敵が届いたら

輸送用箱から取り出したボトルを横向きに静置して、ゆっくり常温に戻します。

⚠ 注意!

リクトップの到着後は、当日に全て放飼し、使い切ってください。
万一放飼が翌日になる場合は、容器を新聞紙に包んで乾燥を防ぎ、冷蔵庫の野菜室で保管してください。

② ボトル内を攪拌する

ボトル内のタイリクヒメハナカメムシの偏在を防ぐため、ボトルを横にしてゆっくり10回程度回転させ、密度を均一にしてください。



⚠ 注意!

ボトルを上下左右に激しく振るなど、手荒に扱っているとタイリクヒメハナカメムシが圧死してしまうため、注意してください。

③ 天敵放飼

ボトルを開封し、施設全体に放飼します。アザミウマが侵入しやすいハウスの出入り口、側窓付近や、例年アザミウマの発生が見られる箇所には重点的に放飼します。



④ 放飼が終わったら

放飼後のボトルは、タイリクヒメハナカメムシがボトル内に残っている可能性があるため、施設内に静置してください。



Point!

タイリクヒメハナカメムシが良く定着するように、放飼から1週間は葉面散布剤や農薬の使用は避けてください。



タイリクヒメハナカメムシに対する農薬の残効期間もしくは影響の程度について

- ・表中の数字は残効日数を表します。天敵の放飼は残効期間（「日数」×24時間）以上の期間を経てから行ってください。
- ・「乾燥後影響ない」と表記されている場合でも、散布後の薬液が乾燥するまでは影響がありますので、天敵の放飼は薬液が乾燥してから行ってください。
- ・本表は日本生物防除協議会、農薬メーカー、試験研究所などの情報に、弊社の知見を加えて作成しました。詳細は各農薬メーカーにお問い合わせください（農薬ラベルをご確認ください）。

【殺虫剤・殺ダニ剤】

| 農薬名 | 残効期間もしくは影響の程度 |
|---------------------------|---------------|
| アカリタッチ乳剤 | 乾燥後影響ない |
| アグリメック | 28 |
| アタブロン乳剤 | 14以上 |
| アドマイヤー1粒剤 | 10 |
| アドマイヤー顆粒水和剤/ 水和剤/フロアブル | 14以上 |
| アニキ乳剤 | 乾燥後影響ない |
| アフーム乳剤 | 7 |
| アブロード水和剤 | 乾燥後影響ない |
| アルバリン顆粒水溶剤/粒剤 | 長期間残効する可能性あり |
| ウララDF | 乾燥後影響ない |
| エコピタ液剤 | 乾燥後影響ない |
| カスケード乳剤 | 28 |
| グレーシア乳剤 | 40 |
| コテツフロアブル | 乾燥後影響ない |
| コロマイト乳剤 | 1 |
| サフオイル乳剤 | 乾燥後影響ない |
| サンクリスタル乳剤 | 乾燥後影響ない |
| サンマイトフロアブル | 14 |
| スタークル顆粒水溶剤/粒剤 | 長期間残効する可能性あり |
| スターマイトフロアブル | 乾燥後影響ない |
| ダニオーテフロアブル | 乾燥後影響ない |
| ダブルシューターSE | 成虫の死亡率高い |

| 農薬名 | 残効期間もしくは影響の程度 |
|---------------|---------------|
| チェス顆粒水和剤 | 幼虫・成虫に影響ある |
| ディアナSC | 14 |
| トランスフォームフロアブル | 成虫の死亡率高い |
| トリガード液剤 | 乾燥後影響ない |
| トルネードエースDF | 7 |
| 粘着くん液剤 | 乾燥後影響ない |
| ピラニカEW | 7 |
| ファインセーブフロアブル | 7 |
| フーモン | 乾燥後影響ない |
| フェニックス顆粒水和剤 | 乾燥後影響ない |
| ブリロツソ粒剤オメガ | 0 |
| プレオフロアブル | 乾燥後影響ない |
| プレバゾンフロアブル5 | 乾燥後影響ない |
| ベネビアOD | 乾燥後影響ない |
| ベリマークSC | 乾燥後影響ない |
| ボタニガードES | 1 |
| マッチ乳剤 | 14 |
| マブリック水和剤20 | 幼虫・成虫の死亡率高い |
| ミネクトデュオ粒剤 | 14 |
| ムシラップ | 乾燥後影響ない |
| モベントフロアブル | 乾燥後影響ない |

・表中の残効期間や影響の程度は目安です。農薬散布時の環境（展着剤、温湿度、天候、紫外線量、換気条件など）によって変化するのでご注意ください。



弊社HPからも
ご確認ください。

【殺菌剤】

| 農薬名 | 残効期間もしくは影響の程度 |
|-------------|---------------|
| イオウフロアブル | 乾燥後影響ない |
| インプレッションクリア | 乾燥後影響ない |
| オーソサイド水和剤80 | 乾燥後影響ない |
| カリグリーン | 乾燥後影響ない |
| サブロール乳剤 | 乾燥後影響ない |
| スクレアフロアブル | 1 |
| ストロビーフロアブル | 乾燥後影響ない |
| ダイアメリットDF | 1 |
| ダコニール1000 | 乾燥後影響ない |
| トップジンM水和剤 | 乾燥後影響ない |
| トリフミン水和剤 | 乾燥後影響ない |
| パルミノ | 乾燥後影響ない |

| 農薬名 | 残効期間もしくは影響の程度 |
|-------------|---------------|
| パンチョTF顆粒水和剤 | 乾燥後影響ない |
| ピクシオDF | 1 |
| ピシロックフロアブル | 乾燥後影響ない |
| フセキワイドフロアブル | 乾燥後影響ない |
| フルピカフロアブル | 乾燥後影響ない |
| ベルコートフロアブル | 乾燥後影響ない |
| ベンレート水和剤 | 乾燥後影響ない |
| ミギワ10フロアブル | 乾燥後影響ない |
| モレストン水和剤 | 乾燥後影響ない |
| ラリー水和剤 | 乾燥後影響ない |
| ランマンフロアブル | 乾燥後影響ない |
| ロブラール水和剤 | 乾燥後影響ない |

アザミウマ防除でリクトップと併用できる農薬

※リクトップの導入前後に散布しても
タイリクヒメハナカメムシに対して
影響の少ない農薬を抜粋しています。

| 農薬名 | 残効期間もしくは影響の程度 |
|----------|---------------|
| アニキ乳剤 | 乾燥後影響ない |
| ウララDF | 乾燥後影響ない |
| コテツフロアブル | 乾燥後影響ない |

| 農薬名 | 残効期間もしくは影響の程度 |
|-----------|---------------|
| プレオフロアブル | 乾燥後影響ない |
| ベネビアOD | 乾燥後影響ない |
| モベントフロアブル | 乾燥後影響ない |